

## 事例6 学級活動（1）学級や学校における生活づくりへの参画

### 「ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決」の事例

○学年	第1学年
○主な内容	学級生活の充実と向上を目指し、協働して取り組む児童を育てる学級活動の展開
○事例のポイント	①発達の段階に応じて学級会の指導方法を工夫する。 ②実践を意識した話し合いのために、掲示物等を工夫する。 ③合意形成を図るために、決定事項の明確化や話し合いの焦点化について工夫する。 ④実践の成果と課題を明確にするために、振り返りを工夫する。

#### ICTを活用した主な学習場面

- ・提案理由の提示場面
- ・話し合いの場面
- ・実践後の振り返りの場面

#### ICT活用の利点

- ①提案理由を伝える際に写真などを大型モニターに提示することで、提案理由を可視化することができる。
- ②話し合いの場面に応じた発表モデルを大型モニターに提示することで児童が発言しやすくなることができる。
- ③実践の様子をタブレット端末で撮影した動画や写真を見ることで、すぐに振り返りができる。

### 1 議題 「あきのなかよししゅうかいをしよう」

#### 2 児童の実態と議題選定の理由

本学級の児童は、学校生活にも慣れ、明るく元気に過ごしている。一方で、自分の思いを強く言いすぎてしまい、友達とトラブルになってしまう様子が見られた。そこで、学級全員で話し合い、楽しい学級生活をつくる経験を通して、仲よく過ごすことの意義を実感できるよう指導している。学級会については、1学期は教師主導で「みんなのこともっとしろう」や「フルーツバスケットをしよう」などの議題で話し合うとともに、学級会オリエンテーションを適宜行ってきた。また、1単位時間の中で話し合いから実践まで行い、合意形成したことをみんなで実践することのよさを実感できるようにしてきた。2学期からは、これまで教師が行ってきた司会や黒板記録の役割を部分的に児童に任せ、学級会ノートについても段階的に記入する部分を増やしている。

本議題「あきのなかよししゅうかいをしよう」は、生活科の「なつまつり」から着想を得て「秋祭りをしたい」という意見や「クラスみんなで仲よく楽しいことをしたい」という児童の願いから提案された。その他にも、「おたのしみかいをしよう」という議題案が出されたが、すでに同様な実践を行っていることから、本議題が選定され、全員で決定した。事前から事後の一連の活動の中で、学級内の児童同士の関わりをさらに深め、互いのよさに気づき、誰とでも仲よく過ごすことができるようにしていきたい。

#### 3 第1学年及び第2学年の評価規準

よりよい生活を築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
みんなで学級生活を楽しくするために他者と協働して取り組むことの意義を理解している。 話し合いの進め方に沿った意見の発表の仕方や他者の意見の聞き方を理解し、活動の方法を身に付けている。	学級生活を楽しくするために、問題を発見し、解決方法について話し合いの進め方に沿って合意形成を図り、仲よく助け合って実践している。	学級生活を楽しくするために、見通しをもったり振り返ったりしながら、自己の考えをもち、役割を意識して集団活動に取り組もうとしている。

4 事前の活動

日時	児童の活動	指導上の留意点	◎目指す児童の姿 【観点】(評価方法)
10月9日 業間休み	・議題の選定をする。 (司会グループ)	・話し合う必要性や理由を確認し、議題を選定できるようにする。	◎みんなが楽しく学級生活を送るために行う学級会であることを理解して、議題を選定している。【知・技】(観察)
10月9日 学級タイム※	・議題を決定する。 (学級全員) ※学校で設定している業前の時間	・全員で決定することで、議題への期待感をもてるようにする。	
10月10日 業間休み	・提案者と提案理由を確認する。 (司会グループ)	・提案者の思いや願いを踏まえ学級全体の共同の問題となるように教師が中心となって分かりやすくまとめる。	◎「あきのなかよししゅうかい」への見通しをもち、意欲的に取り組もうとしている。【態】(観察)
10月10日 昼休み	・集会全体の流れを決める。 (司会グループ)	・教師が学級活動コーナーにプログラムや決まっていることを示し、他の児童も自由に見ることができるようにする。	
10月11日 帰りの会	・学級会ノートに自分の考えを記入する。 (学級全員)	・みんなが仲よくなるような内容を記入するように伝える。 ・書き終わらなかった児童は、家庭の協力を得ながら、記入するよう声をかける。	◎めあてを意識して学級会ノートに自分の意見を書いている。 【思・判・表】(観察・学級会ノート)
10月17日 朝の会	・学級会ノートに記入された意見に対して、全体で共通理解を図る。	・提出された学級会ノートの意見に目を通し、全体で共通理解が必要なものを見つける。	
10月21日 業間休み	・学級会ノートで話し合うことや自分の意見を確認する。 (学級全員)		

**事例のポイント②**  
決まっていること、プログラム等実践に向けての細かな内容を学級活動コーナーに提示していく。

**事例のポイント①**  
学級会ノートの意見を書く欄が発表の話型になっている。

**学級会ノート**

だいきかい がっきゅうかい ノート 十がつ 二十二にち (火)	一人ひとりの意見	あきのなかよししゅうかいをしてみよう	だいきかい がっきゅうかい ノート 十がつ 二十二にち (火)
議題の選定	議題の決定	提案者と提案理由の確認	学級会ノートに自分の意見を書く
議題の選定	議題の決定	提案者と提案理由の確認	学級会ノートに自分の意見を書く
議題の選定	議題の決定	提案者と提案理由の確認	学級会ノートに自分の意見を書く

## 5 展開

### (1) 本時のねらい

話し合いの進め方に沿って、自分の意見を言ったり、友達の意見を聞いたりして、みんなが仲よくなれる集会の内容を話し合っで決めることができるようにする。

### (2) 児童の活動計画

だい 7 かい がっきゅうかい 10がつ22にち(火) 2じかんめ			
しかい グループ	さすひと	〇〇 〇〇	はるひと
	すすめるひと	(〇〇せんせい)	
ぎだい	あきのなかよししゅうかいをしよう		
だした わけ	(クラスのいま)	〇くみは、がっきゅうかいやうんどうかいでだんだんなかよくなっているとおもいます。だけど、クラスのみんなとは まだなかよくなっていないとおもいます。	
	(そこで)	「あきらしいしゅうかい」をひらいて、みんなでたのしみたいです。	
	(そうすれば)	みんながもっとなかよくなれるとおもったので、ていあんしました。(ていあんしゃ:〇〇 〇〇)	
はなしあい のめあて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラスみんながなかよくなれるしゅうかいのけいかくをたてよう。</li> <li>・ゆっくりおおきなこえではっぴょうしよう。</li> </ul>		
きまっ ている こと	い つ…10月29日(火)5じかんめ じゅん び…10月24日(木)ひるやすみ ばしよ…きょうしつ ゲーム…2つ プログラム…①はじめのこたば ②せんせいのはなし ③ゲーム(1) ④ゲーム(2) ⑤ふりかえり ⑥せんせいのはなし ⑦おわりのこたば		<b>事例のポイント①</b> 低学年の発達の段階を考慮し、児童の活動計画は、児童の思いを確認しながら、教師が作成している。経験や実態に応じて徐々に児童と共に作成していくようにしていく。
はなしあい①	なにををするか		
はなしあい②	たのしいかにはどうしたらよいか		
はなしあい③	やくわり		
はじめのこたば	≪きをつけることなど≫ <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>クラスみんなにきこえるおおきさでいう。</b></li> <li>・ <b>スライドショーのじゅん びをする。</b></li> <li>・ <b>たしかめながらはなす。</b></li> </ul>		
やくわり の しょうかい			
きまっ ている こと の はっぴょう			
はなしあい① 12ふん	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>おなじひとにならないように、いろいろなひとをさす。</b></li> <li>・ <b>わけもいってもらう。</b></li> <li>・ <b>いけんをいってもらったら「ありがとうございました」をわすれずにいう。</b></li> </ul>		
はなしあい② 12ふん	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>たくさんいけんがでたらせんせいとそうだんする。</b></li> <li>・ <b>みんなのしんぱいをなくす。</b></li> <li>・ <b>なにについてはなしあっているかわかるようにする。</b></li> </ul>		
はなしあい③ 10ふん	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>ちがうはなしをしていたら、やさしくおしえる。</b></li> <li>・ <b>とけいをみて、のこりのじかんをいう。</b></li> </ul>		
きまっ た こと の はっぴょう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>きまったことを一つ一つみんなでよんでたしかめる。</b></li> </ul>		
ふりかえり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>はっきりいう。</b></li> <li>・ <b>じかんをみて、たしかめる。</b></li> </ul>		
せんせいの はなし			
おわりの こたば			

(3) 教師の指導計画

話合いの順序	指導上の留意点	◎目指す児童の姿 【観点】(評価方法)
1 はじめの言葉 2 司会グループの紹介 3 議題の確認 4 提案理由の確認 5 話合いのめあての確認 (担任) 6 決まっていることの確認 (担任)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・明るい雰囲気話し合うことができるよう、笑顔で見守る。</li> <li>・提案者の気持ちを考えながら聞くように助言する。</li> <li>・<u>学校行事や集会の様子を提示しながら</u>、みんながなかよくなるために楽しい集会の計画を立てていくことを確認する。</li> </ul>	◎目指す児童の姿 【観点】(評価方法)
い つ…10月29日(火) 5じかんめ じゅんぴ…10月24日(木) ひるやすみ ばしょ…きょうしつ ゲーム…2つ プログラム…①はじめのことば ②せんせいのはなし ③ゲーム(1)【15分】 ④ゲーム(2)【15分】 ⑤ふりかえり ⑥せんせいのはなし ⑦おわりのことば		
7 話合い 話し合うこと① 「なにをやるか」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師が中心になって、「出し合う」「くらべ合う」「まとめる(決める)」の流れで話合いを進め、意見が述べられた後に「ありがとうございました」を忘れずに言うようにする。</li> <li>・「くらべ合う」「まとめる(きめる)」では、話型を大型モニターに映しておく。</li> </ul>	ICT活用の利点②

ICT活用の利点①

事例のポイント③  
 集会のプログラムや時間、準備の日程等を詳しく決めておくことで、話合いで決める内容を焦点化する。

**くらべあう**  
 わたし(ぼく)は、「(でているいけん)」にさんせいです。  
 わけは、「(りゆう)」だからです。



ICT活用の利点②

・採用されなかった意見は、休み時間で行うなど、その意見を発表した児童に配慮した合意形成となるようにする。

話し合うこと②

「たのしいかいにするにはどうしたらよいか」

・理由をつけて意見を言えない児童には、教師が質問し、補うなどの支援をする。



事例のポイント①

めあてや提案理由を意識して意見が言えるように支援する。

「〇〇さんの『秋らしい』と言っている気持ちが分かるかな。」

話し合うこと③

「やくわり」

・児童の意見が他の児童に伝わりにくい場合は、教師が適宜、児童の考えを補足する。  
・プログラムから推測される役割については「出し合う」から進め、話し合いで決まったことから必要になる役割について話し合えるようにする。

◎みんなで仲よくなるための内容を考え、発言している。【思・判・表】  
(観察・学級会ノート)  
◎友達の話をよく聞いて、提案理由を意識して、発言している。【思・判・表】  
(観察・学級会ノート)

- 8 決まったことの発表
- 9 振り返り
- 10 先生の話
- 11 おわりの言葉

・柱ごとに決まったことを確認するために、一つ一つ全員で読むよう指示をする。  
・今回の学級会でよかった点や課題、実践への意欲付け、司会グループへのねぎらいについて簡潔に述べる。

十分満足できる活動の状況をみとるために目指す児童の姿を複数設定することも考えられる。

板書例

7 かいがつきゆうかい

ぎだい あきのなかよしゆうかいをしよう

ていあんりゆう

はなしあひのめあて

クラスみんながなかなかなくなるしゆうかいのけいかくをたてよう  
・ゆめくりおきなこえてはつびよししよう

きまつていること

いつ：十月二十九日(火)五じかんめ  
じゆんび：十月二十四日(木)ひるやすみ  
ばし：きょうしつ ゲーム：とつ

はなしあひのめあて

なにしあうこと①

あき(たか)さがし  
もみじのほうさがし  
(はんかち)

なにしあうこと②

たのしいかいにするにはどうしたらよいか

はなしあうこと③

やくわり

じかん

おわりのことば

はじめのことば

しかい

ゲーム

かざり

おんがく

はなしあうこと④

はちまき

あきのかざり

もみじのおそろいのパッチ

よくできたね

シール

はなしあうこと⑤

あきさがし

しりとり

もみじ(もじゅうご)

がり

はなしあうこと⑥

プログラム

①はじめのことば

②せんせいのはなし

③ゲーム(1) 15分

④ゲーム(2) 15分

⑤せんせいはなし

⑥おわりのことば

クワヌのいぬ  
〇くみは、がつきゆうかいやうんどうかいでだんだんかよくなっているとおもいます。だけど、クラスのみんななどはまだなかよくなっていないとおもいます。

だごご  
あきらしいしゆうかいをひらいて、みんなでたのしみたいです。

だごせれけ  
みんながもっとなかなかなれるとおもったので、ていあんしました。

6 事後の活動

日時	児童の活動	指導上の留意点	◎目指す児童の姿【観点】(評価方法)
10月21日 昼休み	・役割を分担する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>それぞれの役割で必要な人数を全体で確認する。</li> <li>希望が集中した場合は、他の役割に移動できないか全体で確認する。他の役割に進んで移動した児童を称賛する。</li> </ul>	
10月23日 ～ 10月28日	<ul style="list-style-type: none"> <li>役割ごとに協力して準備する。</li> <li>帰りの会などで係ごとにお知らせを伝える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実践までの準備できる時間をカレンダーに記載して児童に提示する。</li> </ul>	◎「あきのなかよししゅうかい」の提案理由を意識して友達と協力して取り組もうとしている。 <b>【態】(観察)</b>
10月29日 5時間目	<ul style="list-style-type: none"> <li>「あきのなかよししゅうかい」を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>集会のめあてを確認し、なかよく実践できるようにする。</li> </ul>	◎集会のめあてを意識して実践を振り返っている。 <b>【思・判・表】(観察・振り返りカード)</b>

見通しをもって準備ができるようにカレンダーを学級会コーナーに掲示する。

あきのなかよししゅうかいまでじゅんぴカレンダー

10/23	10/24	10/25	10/28	10/29
20ふん やくわりぎめ ぼっち、シール でざいん けってい!	20ふん かかりごとのじゅんぴ	20ふん かかりごとのじゅんぴ ・おんがくせんしゅう ・しかい、はじめのことば、 おわりのことば (いうこときめる)	20ふん しあげ ・かざりをはる (みんなからあつめ る)	
ひるやすみ なし	ひるやすみ なし	ひるやすみ ・たからさがし、はん かちおとしのせつめい (いうこときめる)	ひるやすみ ・かざりをはる	

編 P201  
指導計画作成の留意事項



みんなでなかよくできてよかった。



・実践で感じたことをすぐに記録できるようプログラムの中に振り返りカードを書く時間をあらかじめ位置付けおく。

<p>10月29日 帰りの会</p>	<p>・あきのなかよししゅうかいの 振り返りを行う。</p>	<p>・活動の様子(写真)や 振り返りカードに書 かれた感想をもとに みんなで仲よく活動 するよさを実感でき るようにする。</p>	
		<p><b>事例のポイント④</b> 教師が仲よく活動している場面を取り上 げ集会のめあてを意識して実践している 姿を価値付けする。</p>	

## 7 指導上の留意点

- 入学当初は、司会、黒板係などは教師が行ってきたが、9月以降は司会グループを決め、教師と一緒に活動できるようにした。
- 計画委員会において話し合うこと②では、「たのしいかいにするやくそくをきめよう」も検討したが、今回は集会を楽しくする工夫について考えるようにした。
- 多くの意見が出されることで、児童が決めきれず、賛成意見の数だけで決めたり、安易な多数決になったりしてしまふことが考えられる。事前に提案理由について共通理解を図ったり、決まっていることを示したりして、合意形成が図れるように繰り返し指導してきた。さらに出された意見について、イメージを共有できるよう教師が助言することも大切にしている。